

白川びと学

【目的】 広い視野から、自分の生き方や進路を自分で決定することができる態度を育む。そのために、様々な「ひと」に出会い、多様な生き方に触れることを大切にします。



好きなことや得意なことを、仕事や趣味にする生き方に触れる。

1・2年生

自分の好きなこと、得意なことを見つけることの楽しさを感じる

3・4年生

自分の好きなこと、得意なことを生かして新しいことに挑戦、努力する

5・6年生

夢や希望をもち、自分のあこがれる生き方の実現に向けて、行動を起こし、努力する

7・8・9年生

自分らしさとは何か考え、広い視野から、自己の生き方や進路を選択し、決定する



村のよさを生かして、新しいこと(仕事)に挑戦する生き方に触れる。地域には、自分たちの知らない「地域の魅力を生かした職業」があることを知る。



よりよい生き方を創り出すためには、どこに住むかということよりも、何を成し遂げたいのかという「目的(志)」をもつことが大切であることに気づき、夢をもち実現することへの思いを高める。



様々な選択肢の中から、自分の生き方に合ったライフスタイルや職業を選び取る生き方に触れる。

未来とくらし

防災 生き抜く知恵と技

【目的】 予測困難な未来に向けて、災害時を想定した様々な体験を通して“自ら考え行動できる知恵と技”を身に付けます。3年生から8年生まで段階ごとにスキルを高め、生き抜く知恵と技を習得します。



時と場に合った最適な SOS の出し方を自分で考え、色々な方法で助けを呼ぶ練習をします。

3年生

もしもの時に生き抜くために
SOSの出し方
持ち出し袋に何入れる？

4年生

もしもの時に生き抜くために
泥水は飲める？ろ過してみよう



泥水をろ過する方法や殺菌する方法を体験します。簡単にきれいにならないことを実感します。



新聞紙や小枝から火をおこし、安定した焚火をつくる方法を体験し、火の大切さを学びます。

5年生

もしもの時に生き抜くために
マッチで火を起こそう
ビニール袋で炊飯しよう

6年生

もしもの時に生き抜くために
ナイフの使い方 ファーストエイド



小枝から箸を作る体験をします。ケガや低体温症時の対応など自分で考え行動できる手段も学びます。



ロープワークを学び、テント設置やシェルターづくりを行い、実際にテント泊をし実践します。

7年生

もしもの時に生き抜くために
テントで一泊
これまでの学びをつなぐ

8年生

もしもの時に生き抜くために
避難所設営ゲーム



災害時の避難所を想定して、集団のもつポジティブな力、ネガティブな力を考え合います。